

～ 国道8号付加車線設置工事 ～ 富山県立大学3年生が工事現場を見学しました

富山河川国道事務所では、国道8号付加車線設置工事(小矢部地区交通安全対策事業)において、11月12日(月)に富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科の学生を招き、現場見学会を実施しました。

本見学会は、社会資本整備の重要性や建設界の魅力についての理解を深めていただき、建設界の担い手確保を目的に実施しているものです。

今回は、3年生24名に参加していただき、茅蜷橋工事における矢板工の施工状況の見学や、若手技術者、女性技術者による建設界の魅力や仕事の経験談を聞いていただきました。



担当職員による事業説明



矢板工施工状況の見学



若手技術者、女性技術者の経験談



技術者に質問する学生たち